

令和3年度 第1回理事会 議事録

日 時 令和3年5月15日(土)13時30分～14時30分

場 所 北海道立総合体育センター 中研修室

出席者 生島典明、紺屋正雄、黒田謙二、渋谷研一
印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博
浅野泰弘、多田吉宏、藤原 正、田中 淳
高坂 猛

欠出席者 大江憲一、家近昭彦、櫻庭功一、春間好実
伊山和宏(代理)、鎌田勝広、西谷清之、志手典之
宇野 要、川崎尚子(代理)、柴田一徳、前田賢一
永谷 稔、大西能正、須田正毅

1. 開 会

※総務委員長が、理事34名中12名及びZoom参加12名の計24名、代理2名、オブザーバー1名、監事1名及びZoom参加1名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

令和3年度第1回理事会にお集まりいただきお礼。コロナ禍の下今年のこの会議は書面議決となったが、今年度は役員改選の年となり、各会議で承認、議決を進めるため、ZOOM会議を設定した。この役員での会議は最後となり、みなさまのご協力に感謝申し上げます。

この1年の新型コロナ感染拡大の中、ほとんどのカテゴリーでの大会、事業が中止となり、それぞれ卒業年度を迎えていた選手の無念の気持ちは言葉に表せるものではないと思います。そのような中、高校選手権北海道予選会、高校新人大会について、全日程を終了することができ、対応した全ての皆さんのおかげと感謝申し上げます。

一方、V2男子の、ヴォレアス北海道が2位で入替戦には惜しくも敗れたが、サフィルヴァ北海道、V1女子のデンソーフェアリービーズ、さらにV2参戦予定のアルテミス北海道とともに道内バレーボールをさらに盛り上げていただきたい。

令和3年度に向けては、コロナ感染対策等を確実に取ったうえで、実施に向けてご尽力願いたい。

今日の理事会では、評議員会に提出する令和2年度の事業報告及び決算報告などの審議をよろしく願います。

3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、浅野常任理事、丸山常任理事の2名を指名する。

4. 協議事項

(1) 令和2年度事業報告及び決算書類等承認について

①事業報告関連

- ・総務委員会 資料2ページ記載の通り、資料3,4ページの各種大会参加一覧、登録一覧の説明
- ・競技委員会 資料4ページ記載の通り
- ・審判委員会 資料5,6ページ記載の通り
- ・強化委員会 資料7ページ記載の通り、8ページの北海道スポーツ協会競技力向上事業の説明
- ・指導普及委員会 資料9,10ページ記載の通り

②決算報告関連

- ・資料12~14ページの一般会計決算の収入の部その他についてコロナ対策費道補助金分を追加、支出の部予備費に特別支援を追加。特別会計決算報告、チャレンジファンドの運用報告の説明がある。

質疑が無く、令和2年度事業報告及び決算書類を評議員会へ提案することに決定した。

(2) 役員選任の件

〇4月22日に行われた役員等選考委員会結果に基づき、評議員会に提出する。選考委員会には黒田副会長が議長となり、評議員・理事選考ガイドラインに沿って選考した。基本的な考え方として、評議員・理事数は原則として1:2とする。評議員を複数年務めた方には理事も経験してもらう。会長指名理事となった者は地区の選考から除く。その結果、評議員9名を選定し、理事候補者25名を選考した。会長指名理事13名の生島会長にはご留任の内諾を頂き、副会長に紺屋氏、黒田氏、渋谷氏、監事候補とともに評議員会へ提案することを決定した。

～承認

(3) 北海道バレーボール協会全国大会等助成金の交付について

- ・総務委員長より北海道バレーボール協会全国大会等助成金交付要綱に基づき、第16回北海道高等学校バレーボール新人大会でコロナ対策と会場数や役員の増で経費が大幅に嵩み、北見バレーボール協会会長から23万円の申請があり、理事会への提案がある。

～承認

(4) 令和3年度一般会計補正予算(案)について

- ・総務委員長より令和3年度の一般会計補正予算(案)について2年度決算により繰越金の計上と繰入金として、上記全国大会助成金の23万円を特別基金から繰入れ、収入合計は1770万円、支出ではコロナ対策費として地区協会基本金1/2相当の45万円と外対策費55万円の100万円を計上し支出合計1770万円の補正予算(案)の提案がある。

～承認

(5) その他

- ・総務委員長からチャレンジファンドのお礼文書と運用報告書の説明がある。運用報告書は篤志寄付者と理事会、評議員会に報告する。なお、本基金は今後、所定の手続きを経た上で、別の団

体へ移行すると共に、移行終了後本規程を廃止することの提案がある。

<質疑>

○移行する団体名は（生島会長） ⇒ 札幌バレーボール協会
～承認

5. 報告事項

(1) 日本協会関連

- ・臨時ブロック理事長会議がZoomで開催され、新型コロナウイルスの感染対策費として天皇杯・皇后杯の都道府県ラウンド2万円、ブロックラウンドは5万円、北海道は7万円のコロナ対策費が支給される。予選ラウンドが実施できない場合の推薦チームの対応を検討しなければならない。また、国体と日本マスターズについても同様となる。
- ・5月1日のテストマッチに女子は明井さん、男子は村中さんが主審を務めた。2日目は主審を村中さんが副審を明井さんが務めた。

(2) 各委員会関連


- ・競技委員会 5月13日現在の競技日程の中止の状況とこれからの大会実施について報告がある。
- ・審判委員会 北海道ブロックA級審判講習会が2年ぶりに北翔大学で実施することができた。今年度A級審査会の年となり、釧路協会の阿部さんと札幌協会の尾上さんが審査会を受講する。
- ・クラブ連 本日現在MRS登録が14チームあり、各地区協会にお知らせする。

6. 閉会

【第2回理事会：9月25日（土）13時30分～北海きたえーる 研修室】

議事録署名人

会 長

生島典明 

議事録署名人

浅野 泰 

議事録署名人

丸山 道博 